

都筑区 区民文化センターニュース 第9号

発行：令和5年7月21日

本市では、区の文化活動拠点となる都筑区民文化センターの整備を進めています。
今回は、ネーミングライツ(命名権)契約の締結や緞帳デザインの決定等をお知らせします。

1 整備の進捗状況

区民文化センター棟についても、本格的に工事が開始されました。令和6年度中の開館を目指し、順調に工事が進められています。

■ 整備スケジュール ■

- ・令和4年1月 工事着手
- ・令和6年9月 工事しゅん工(予定)
- ・令和6年度中 開館(予定)



建設現場全景(空撮) 2023年6月18日

2 ネーミングライツ(命名権)契約の締結について

令和5年6月29日にボッシュ株式会社とネーミングライツ契約を締結し、愛称は「ボッシュホール」(英語名:Bosch Hall)に決定しました。横浜市の区民文化センターへのネーミングライツ導入は初の試みで、スポンサー料は区民文化センターの施設管理費や区民文化センターを中心とした文化振興・賑わい創出等に活用していきます。

【契約内容の概要】

◆契約の相手方:

- (名称)ボッシュ株式会社
- (本社)東京都渋谷区渋谷3-6-7
- (代表者)代表取締役社長 クラウス・メーダー
- (主要事業)自動車機器の開発、製造、販売、サービス

◆愛称

ボッシュホール(英語名:Bosch Hall)

◆契約金額

年間1,100万円(税込)

◆契約期間

10年3か月(令和7年1月~令和17年3月)

◆地域貢献等への提案

- ①都筑区民文化センターを含む施設の発信力の強化
全天候型広場・ボッシュ本社ビルとの連携による各種イベントの企画・実施・発信、認知の向上
- ②都筑区民文化センター・ボッシュ株式会社関連施設の有機的な連携による賑わいづくり
市民活動・地域イベント開催時の会場として、全天候型広場・ボッシュ本社ビル1階の一部を開放
- ③文化振興への貢献
文化イベント・プログラムの企画・実施



左:山中竹春横浜市長 右:クラウス・メーダー社長



※ボッシュホール(都筑区民文化センター)イメージ図
センター北駅側から見た施設完成イメージ

3 緞帳デザインの決定について

都筑区民文化センターは、都筑の歴史的な文脈と現代の文化を大切に、さらに未来に向かう新しい文化の発信を行う拠点として、「歴史と未来」の融合（Fusion）をコンセプトに整備を進めており、その外観は歴史を象徴する自然素材と未来を象徴するガラス系素材を積層させ、年輪のように時間の積み重ねを想起させるデザインとしています。

メインホールに設置される緞帳（どんちょう）は、そうした区民文化センター全体のコンセプトやデザイン、また、有識者や地域代表の方等で構成された緞帳デザイン検討会で行われた議論を踏まえ、デザインを決定しました。「土、積層、地層」、「都筑区らしさ（自然）」、「親和性」、「将来性」、「シンプル」をデザインテーマとする緞帳は、現在、機械に頼らず 300~900 色を越える織り糸を織り手（職人）が織り上げていく手工芸の技「綴織（つづれおり）」で製作が進められています。



緞帳デザイン



ホール内に緞帳を設置したイメージ

【デザインに込めた思い】

都筑区は、大塚・歳勝土遺跡や境田貝塚、茅ヶ崎貝塚といった日本初期の集落の出現にあらわされるように、数千年の歴史と文化が積み重なった土地です。これを「土の積層」と捉え、これからは都筑区に残り続ける歴史の積層を表現しながら、上部にいくほど明るくなり、土を積み重ね未来へと繋がる高揚感をメッセージとして表現しています。

また、デザインを構成する要素を絞ることで、演目やホール内装との親和性を考え、シンプルでありながら重厚なデザインとしています。

※こちらのイメージパースは、現時点のものであり実際の建物と異なる場合があります。
※本紙掲載の区民文化センターに係る写真・パースの著作物使用権は、開発事業者のボッシュ株式会社に帰属します。

民間施設部分を含む、事業全体計画につきましては、ボッシュ株式会社ホームページをご覧ください。

「都筑区民文化センター（仮称）およびボッシュ・グループ研究開発拠点の新設事業」

【URL】 <https://corporate.bosch.co.jp/news-and-stories/fusion/>



発行：都筑区役所 区政推進課

〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32-1

電話 045-948-2226 FAX 045-948-2399 Eメール tz-plan@city.yokohama.jp